

情勢報告（平成27年8月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

米ナス部会が夏期の現地検討会を開催



米ナスの栽培状況をチェック

8月5日、JA土佐れいほく園芸部米ナス部会の現地検討会が大豊町で開催され、農家12名（れいほく未来研修生含む）が参加しました。

会は、JA出資型法人（株）「れいほく未来」のハウスで行われ、一芽切り戻しについて農家が研修生に教えたり、農家間で生育状況を確認するなど、活発な意見交換が行われました。その後の講習会では、収穫果実の大きさや収穫後の保管管理、市場事故防止対策について確認しました。

普及所からは、今年度の生育状況や収穫最盛期となる8～9月にかけての夏季の高温対策や収穫最盛期の灌水・追肥方法、病虫害防除などについて指導しました。

有機栽培トマトの現地検討会をコーディネート！



トマト栽培で活発に交流

8月7日、有機栽培トマトの現地検討会と交流会を普及所が開催しました。現地検討会は大豊町の農家ハウスで実施し、会へは、管内で就農を検討中の研修生等を含めた15名が参加しました。

有機栽培農家は販売方法が農家ごとに異なる場合が多く、農家間で話し合う機会も少ない状況にあります。このため、農家間の交流と栽培技術向上を図りました。普及所からは、初めて顔を合わせる人もいたため、出席者や開催場所となった農家の栽培概要を紹介し、その後、農家間で施肥方法や病虫害防除等について熱心な話し合いが行われました。

管内でのトマトの栽培は11月末まで続くため、今後もこのような会を開催していく予定です。

れいほく八祭の開催を支援！



嶺北産はどれかなあ～？

8月22日、関係機関で構成する嶺北地域農林業振興連絡協議会とJA土佐れいほく園芸部の共催による「れいほく八祭（はちまつり）」が本山町で開催されました。

普及所は、来場者へ天敵昆虫の説明と就農相談を行いました。イベントでは、嶺北産の牛・鶏肉や牛乳、野菜などを食べて当てる「MADE IN れいほく八見伝」や「シシトウの早詰め選手権」が行われ、生産者や児童がチャレンジしました。

恒例の「美味いめしグランプリ」と合わせ、地元の美味しい食材を生かしたグルメを堪能しながら、農業を身近に感じてもらい消費拡大や後継者育成につなげていきたいと思っています。